

授業科目 作業療法評価学概論

【担当教員名】 貝淵 正人		対象学年	1	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】 医療における評価の概念や、作業療法に必要な評価の考え方を身につける。 また代表的な評価の意味づけを理解し、概説を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1：医療における評価の概説を説明することができる。 2：作業療法における評価の意味づけを説明することができる。 3：作業療法における評価の目的を説明することができる。 4：代表的な評価項目を列挙することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	作業療法評価とは	1・2	担当：貝淵 正人		
2	作業療法の流れ	2・3	担当：貝淵 正人		
3	作業療法評価の意義と目的	1・2	担当：貝淵 正人		
4	作業療法評価の基礎	2・3	担当：貝淵 正人		
5	生活能力の評価	4	担当：貝淵 正人		
6	身体能力の評価	4	担当：貝淵 正人		
7	客観的に捉える指標とは	1・4	担当：貝淵 正人		
8	全身状態の評価	1・4	担当：貝淵 正人		
9	評価の記載方法	4	担当：貝淵 正人		
10	身体構造の評価	4	担当：貝淵 正人		
11	精神状態・意識状態	1・4	担当：貝淵 正人		
12	情報収集の仕方	1・4	担当：貝淵 正人		
13	評価の記載方法 = ICFの視点から =	1・4	担当：貝淵 正人		
14	作業療法評価の伝達方法	2・3・4	担当：貝淵 正人		
15	まとめ		担当：貝淵 正人		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	標準作業療法学 作業療法評価学第2版	岩崎テル子	医学書院	2011・5,800円+税	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席が2/3以上で、かつ定期試験結果を100パーセントとする評価とします		【履修上の留意点】 四肢を露出しやすい服装で臨むこと。			